

CASBEE-建築(新築)2016年版
CTIIかいはんビル 建設工事

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)
 欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質										2.9
Q1 室内環境										3.0
1	音環境					3.0	0.15	-	-	3.0
1.1	室内騒音レベル					3.0	0.40	-	-	
1.2	遮音					3.0	0.40	-	-	
1	開口部遮音性能					3.0	0.60	-	-	
2	界壁遮音性能					3.0	0.40	-	-	
3	界床遮音性能(軽量衝撃源)					-	-	-	-	
4	界床遮音性能(重量衝撃源)					-	-	-	-	
1.3	吸音					3.0	0.20	-	-	
2	温熱環境					3.1	0.35	-	-	3.1
2.1	室温制御					4.0	0.50	-	-	
1	室温					3.0	0.38	-	-	
2	外皮性能	外壁の平均熱貫流率U=1.0以下。				4.0	0.25	-	-	
3	ゾーン別制御性	マルチエアコンを採用しゾーン別制御が可能。				5.0	0.38	-	-	
2.2	湿度制御					1.0	0.20	-	-	
2.3	空調方式					3.0	0.30	-	-	
3	光・視環境					2.7	0.25	-	-	2.7
3.1	昼光利用					1.8	0.30	-	-	
1	昼光率					1.0	0.60	-	-	
2	方位別開口					-	-	-	-	
3	昼光利用設備					3.0	0.40	-	-	
3.2	グレア対策					3.0	0.30	-	-	
1	昼光制御					3.0	1.00	-	-	
3.3	照度	事務室の照度=500lx以上を確保。				4.0	0.15	-	-	
3.4	照明制御					3.0	0.25	-	-	
4	空気質環境					3.1	0.25	-	-	3.1
4.1	発生源対策					3.0	0.50	-	-	
1	化学汚染物質					3.0	1.00	-	-	
4.2	換気					3.3	0.30	-	-	
1	換気量	室面積の1/30以上の換気有効な開口部面積を確保している。				3.0	0.33	-	-	
2	自然換気性能					4.0	0.33	-	-	
3	取り入れ外気への配慮					3.0	0.33	-	-	
4.3	運用管理					3.0	0.20	-	-	
1	CO ₂ の監視					3.0	0.50	-	-	
2	喫煙の制御					3.0	0.50	-	-	
Q2 社会・経済性能										3.4
1	機能性					2.9	0.40	-	-	2.9
1.1	機能性・使いやすさ					2.6	0.40	-	-	
1	広さ・収納性					3.0	0.33	-	-	
2	高度情報通信設備対応					2.0	0.33	-	-	
3	バリアフリー計画					3.0	0.33	-	-	
1.2	心理性・快適性					3.3	0.30	-	-	
1	広さ感・景観	天井高さ=2.7m				4.0	0.33	-	-	
2	リフレッシュスペース					3.0	0.33	-	-	
3	内装計画					3.0	0.33	-	-	
1.3	維持管理					3.0	0.30	-	-	
1	維持管理に配慮した設計					3.0	0.50	-	-	
2	維持管理用機能の確保					3.0	0.50	-	-	
2	耐用性・信頼性					2.9	0.30	-	-	2.9
2.1	耐震・免震・制震・制振					3.0	0.50	-	-	
1	耐震性(建物のこわれにくさ)					3.0	0.80	-	-	
2	免震・制震・制振性能					3.0	0.20	-	-	
2.2	部品・部材の耐用年数					2.8	0.30	-	-	
1	躯体材料の耐用年数					3.0	0.20	-	-	
2	外壁仕上げ材の補修必要間隔					2.0	0.20	-	-	
3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔					3.0	0.10	-	-	
4	空調換気ダクトの更新必要間隔					3.0	0.10	-	-	
5	空調・給排水配管の更新必要間隔					3.0	0.20	-	-	
6	主要設備機器の更新必要間隔					3.0	0.20	-	-	
2.4	信頼性					3.0	0.20	-	-	
1	空調・換気設備					-	-	-	-	
2	給排水・衛生設備					3.0	0.25	-	-	
3	電気設備					3.0	0.25	-	-	
4	機械・配管支持方法					3.0	0.25	-	-	
5	通信・情報設備					3.0	0.25	-	-	

3 対応性・更新性			3.4	0.30		-	3.4
3.1 空間のゆとり			4.6	0.30		-	
1 階高のゆとり		階高=3.9m以上	5.0	0.60		-	
2 空間の形状・自由さ		壁長さ比率=0.3以下	4.0	0.40		-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30		-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40		-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.20		-	
2 給排水管の更新性			3.0	0.20		-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.10		-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.10		-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.20		-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20		-	
Q3 健康・安全・快適性(室内)			2.0	0.37		-	2.7
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30		-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40		-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30		-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50		-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性							3.3
LR1 建築物のエネルギー消費効率			2.0	0.40		-	3.8
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI _m =0.75	5.0	0.06		-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.12		-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEQ][BEI _m] = 0.67	4.3	0.59		-	4.3
4 効率的運用			3.0	0.23		-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00		-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50		-	
4.2 運用管理体制			3.0	0.50		-	
集合住宅の評価			-	-		-	
4.1 モニタリング			-	-		-	
4.2 運用管理体制			-	-		-	
LR2 資源・材料			2.0	0.30		-	2.8
1 水資源確保			3.4	0.20		-	3.4
1.1 節水		自動水栓のほか、節水型便器を使用している。	4.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60		-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70		-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30		-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.6	0.60		-	2.6
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10		-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20		-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20		-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		-	1.0	0.20		-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10		-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		LGS+ボードなど解体時に分別しやすい工法としている。	4.0	0.20		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20		-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30		-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70		-	
1 消火剤			-	-		-	
2 発泡剤(断熱材等)			3.0	0.50		-	
3 冷媒			3.0	0.50		-	
LR3 地域環境			2.0	0.30		-	3.2
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率=80%	3.7	0.33		-	3.7
2 地域環境への配慮			3.0	0.33		-	3.0
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25		-	
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25		-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25		-	
3 交通負荷抑制			3.0	0.25		-	
4 廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33		-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	
1 騒音			3.0	0.33		-	
2 振動			3.0	0.33		-	
3 悪臭			3.0	0.33		-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40		-	
1 風害の抑制			3.0	0.70		-	
2 砂塵の抑制			-	-		-	
3 日照障害の抑制			3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制			3.7	0.20		-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		光害ガイドラインのうち一部を満たし、屋外広告を設置しない。	4.0	0.70		-	
2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30		-	